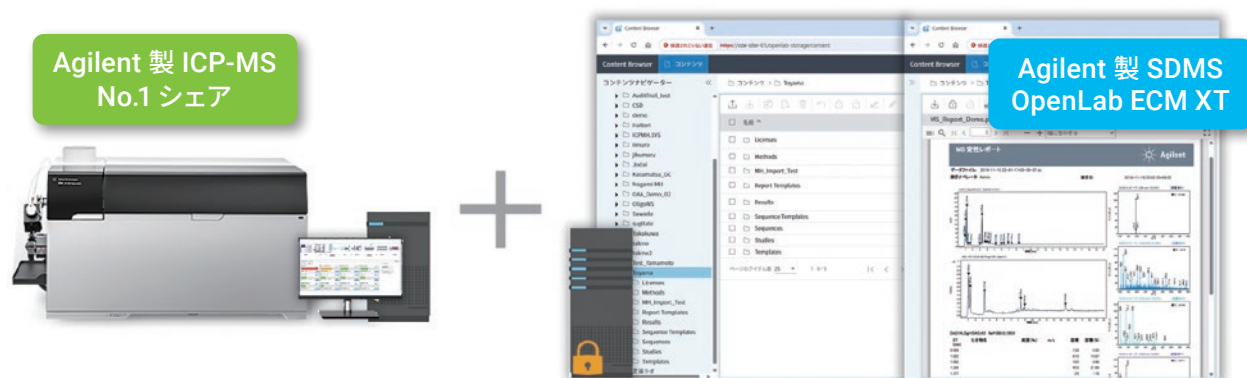


データ管理・セキュリティ対策・リモート監視に最適！
ICP-MS をお使いのユーザー様、データ管理システムを導入しませんか？

ICP-MS ユーザー様向け データ管理システム： OpenLab ECM XT のご紹介

データ改ざん防止や効率化の要望が高まりを見せています。Agilent 製 ICP-MS の MassHunter は、OpenLab ECM XT と合わせて使用することで、より効率的で高度な DI 対応システムへと進化します。また、ECM XT の SDMS としての機能を活用することでラボ全体のデータ管理を行い、遠隔アクセスや結果の自動転記の機能を活用し、効率的な未来のラボを構築することに貢献します。



ICP-MS + OpenLab ECM XT の特徴

- MassHunter のメソッドやデータといった電子ファイルが自動的に ECM XT へ保管されるため MassHunter の PC には電子ファイルは保管されません。
- バックアップの手間の軽減とデータ消失のリスクを削減
- 複数の MassHunter を接続する際、ユーザー ID やパスワード、アクセスコントロールを共通化

OpenLab ECM XT の SDMS としての特徴

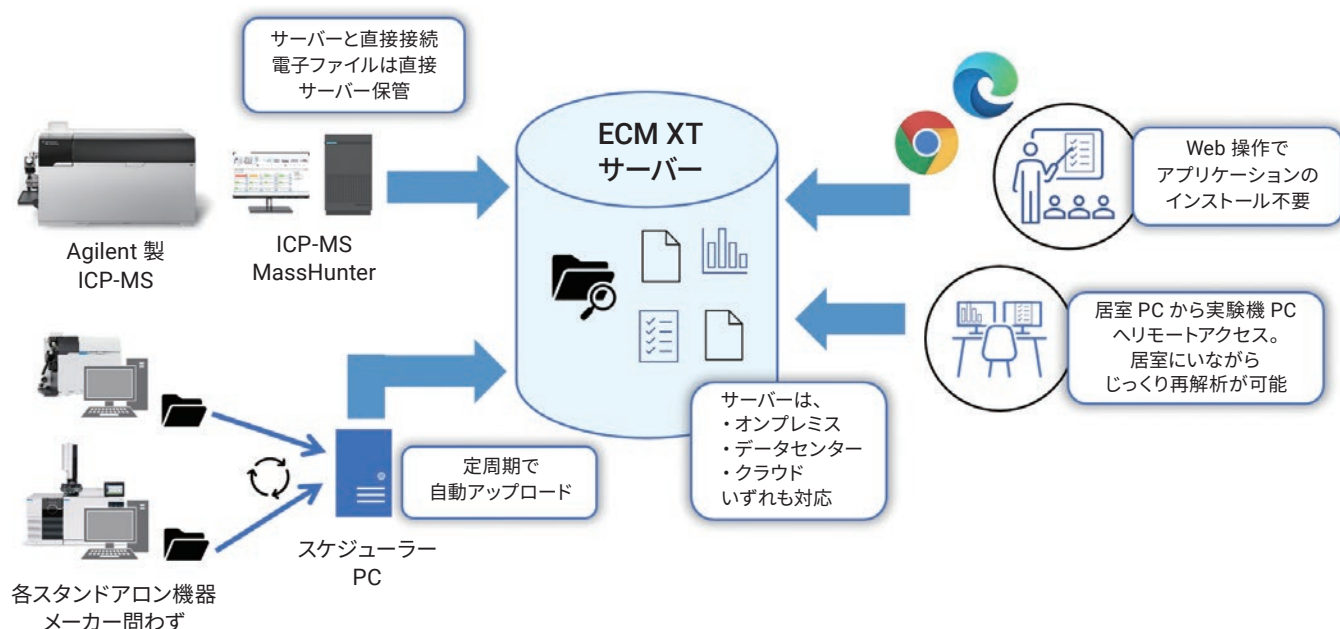
- 実験機 PC から自動的に ECM XT へ電子ファイルの集積が可能。ファイル転送時は暗号化された通信を使用し、社内 LAN との分離も対応可能
- 集められたファイルは、Web ブラウザからアクセスでき、アクセス権のあるユーザーのみが閲覧・編集が可能
- 保管された電子ファイルは版管理され、ファイルの削除や移動が自動的に記録されます。

OpenLab ECM XT オプション機能

- リモートワークスペース：インターネットアクセス、ファイルの移動を制限し居室の PC から実験機 PC への遠隔操作を可能にします。
- ファイルトランスファー/ ファイルコネクトツール：ECM XT のファイルを上位システムへ転送したり、エクセルへの自動転記を行います。

ECM XT でラボデータのセキュアな管理と共有利用を実現

ICP-MS の MassHunter に関するファイルは、ECM XT へ自動転送され PC 内には保管されません。そのため、バックアップの手間が軽減され DI 対応が容易になります。また ECM XT は実験機 PC のファイル保存としても利用できるため、ラボ全体で電子ファイルをセキュアに管理し、長期保存を可能にします。また、オプション機能：リモートワークスペースを用いて、実験機 PC を居室の PC から遠隔でアクセスすることを可能にし、居室にしながら測定状況の確認や再解析を可能にします。リモートワークスペースは、実験機 PC のインターネットアクセスや電子ファイルの移動をブロックし、暗号化された通信を使用します。



【拡張オプション】ファイル管理ツール（トランスファー/コネクトツール）

ECM XT で集積したデータを、上位システムへのファイル自動転送や、Excel 等への自動転記させ活用するツールです。

- ファイルトランスファーツール：ECM XT から上位システムへ自動転送ツール。上位システムへファイル転送をしたいが、実験機 PC のセキュリティ対策や上位システムの接続費用を削減したい方にお勧め
- ファイルコネクトツール：エクセルへの自動転記ツール。手入力の転記を削減されたい方にお勧め

